

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
エンドオブライフケア学実習Ⅱ (プライマリケアの実践)	2	後期	4	実習 180時間
担当教員	長江弘子、青山美紀子、那須真弓、山田案美加			
授業概要	プライマリケア看護の実践能力として地域の一次医療を担う家庭医診療科における一般的な病気・症状・相談に対して問診、視診、触診等を通して、臨床所見と主訴から臨床推論に基づく包括的アセスメント、必要な検査の選択、エビデンスに基づく治療やケアの選択について外来患者を通して学修する。患者の生活背景や人生に対する価値観・自律性・主体性を考慮し、継続的な関係に基づき患者中心の医療を提供する一連のプロセスを学修する。また患者と共に生きる家族の健康にも留意し地域で暮らす患者とその家族、また病気の有無にかかわらず一人ひとりが自分自身の健康に関心を持ち自己の健康に関心を持ち自己の健康管理能力の向上に寄与できる看護実践を展開する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域におけるプライマリ・ヘルス・ケアのスペシャリストとしての役割と高度な看護実践の技能について述べることができる。 2. 地域で生活する患者を対象に、Care と Cure を融合した高度な看護実践、専門職間の連携・調和・相談役割を意識して実践できる。 3. 地域の特色や文化を理解し地域の健康課題との関連を述べるができる。 			
履修条件	特論・演習すべて合格した者			
授業計画	<p style="text-align: center;">内容</p> <hr/> <p>1)実習概要と実習場</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域に存在する家庭医、および各専門の看護師等から活用できる小児から老年までの Care と Cure を融合したミニマムエッセンスを学び、エンドオブライフケア実践としてのプライマリ・ヘルス・ケアのスペシャリストの役割について学ぶ。 ②家庭医診療科における一般的な病気・症状・相談に対して問診、視診、触診等を通じて、臨床所見と主訴から臨床推論に基づく包括的アセスメント、必要な検査の選択、エビデンスに基づく治療やケアの選択について外来患者を通して学修する。小児、母性、成人、老年、精神を通して学習する。 ③さらに、困難事例のアセスメント能力の強化、専門職との連携・調整・相談活動を学ぶ。 ④実習地域の地区路査や人口動態統計等の統計資料分析を行い、地域の健康課題や地域性や文化を学び、その特性を理解する。その上で、地域包括ケアシステムにおける実習施設の役割や機能を理解する。 <hr/> <p>2)家庭医診療所等で展開されるコモンディゼーズを基盤としたさまざまな健康レベル（予防、急性期、回復期、慢性期、終末期）にある小児から高齢者への看護援助、健康予防・増進活動など、実習指導者：岡田唯男(医師)、岩間秀幸(医師)、鈴木早苗(看護師/師長)などのもとで、プライマリケア看護師、研修医やリハビリスタッフとともに実践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①家庭医のもとで、外来通院している患者の事例を受け持ち、Care と Cure を融合した高度な看護実践を展開する。小児、母性、成人、老年、精神に関する各事例（1事例以上）を受け持ち、看護援助を展開する。 ②医療・保健・福祉の多職種との連携、調整・相談活動に関する実践を展開する。 ③①、②で展開した事例をケースレポートとしてまとめ、カンファレンスで発表し実践と評価を行う。 <p>(2) 実習記録として、「アセスメント表」「看護計画」を作成し、実践した内容を記録する。 (3) 本実習のまとめとして「実習レポート」（到達目標に沿う）を提出する。 (4) カンファレンスを開催し、助言を得る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実習カンファレンス：各専門看護師、医師、多職種、実習指導教員等による中間・最終カンファレンス ②全体カンファレンス：中間カンファレンス(大学内各領域の教員)、最終カンファレンス(実習施設の管理者、施設の実習指導者など) 			
教科書				
参考書	適宜紹介する			
評価方法・基準	実習最終日に臨床指導者・担当教員とともに、まとめのカンファレンスの内容を評価する。学生は主体的に実習担当教員と実習指導者と調整し、指導の下に計画、実施する。但し、到達目標を達成できない場合は実習期間を延長する。 事前学習(20%)、実習内容(50%)、レポート(30%)で総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んで学修する。事後には講義で学んだ技術を実習で応用する。			
備考	<p>【実習場所】 亀田ファミリークリニック館山(KFCT)の外来、リハビリテーションセンター、訪問診療、透析センター、歯科センター等で実習する。</p> <p>【臨床指導者】 岡田唯男(医師)、岩間秀幸(医師)、鈴木早苗(看護師/師長)</p>			